

TOPICS.1

第26回 定時株主総会開催

去る6月12日(金)、信金中央金庫北海道支店において、当社の株主である道内全20金庫のご出席をいただき、第26回定時株主総会を開催いたしました。

当日は、第25期(2025年度)事業報告の後、第1号議案の貸借対照表・損益計算書・株主資本等変動計算書承認の件など全5議案について審議、全て原案通り承認されました。

なお、会議に先立ち、武田社長から次のとおりご挨拶がございました。



挨拶内容

日頃のご支援に、心からお礼申し上げます。

この一年もまた、いろいろな出来事がありましたが、まずは株主信用金庫の皆様のご支援のもと、大過なく過ごす事ができ、改めて感謝申し上げます。今「大過なく」とは申し上げましたが、この一年を振り返って、特にここ最近多かった身近な例で率直な感想を申し上げ、ご挨拶としたいと存じます。

システムというのは、まともに動いて当たり前、ひとたび何かあればさあ大変というのは、昔も今も変わりませんが、昨今当たり前のようになり、急激な進化をしながらも、私達のより身近なものになってきているAIや生成AI。

最近はクロード・ミュトスの登場で、より話題性が上昇してニュースでもトップ扱いになるほどですが、こういう扱われ方をすればするほどAIをはじめとする高度なデジタル技術は、人知を上回る能力で何でもやってくれるすごいもので、使い方によっては世の中の窮状を救ってくれる救世主のような感覚に陥っている人が確実に増えているのは間違いないと思います。

AIの話とは直接的には違いますが、当社も金庫の多くの情報系データをお預かりする会社となり、その維持管理をしておりますが、実際には数々の想定外の事象が発生したり、イタチごっこのセキュリティ対策も含め細かい手当てや作業的なことも限りなく繰り返されております。それは今も昔も、どんなに進化していても変わってはならず、発生するトラブルも水際で必死で食い止めている人間がいるのは事実だと思います。

トラブルと言うと、利用している皆さんの不安を駆り立て、あらぬ誤解を生むだけなので、そういう言い方を安易にはしませんが、何事もなく動いているようなシステムは、裏でSEの方をはじめとするシステム管理者の不斷の努力があることを少しでも理解していただければと思います。どんなに進化しているように見えても、現状でいえばその泥臭い作業が

伴っていることはそれほど変わっておらず、経営層の方々には、裏方の努力を少しでもわかっていただければ、我々がやっている仕事も、関係するSEの方や担当者の方々も、誇りをもって更にモチベーション向上に繋がるものと思い、このようなお話をさせていただきました。

仕事をしていれば、自分達のやっていることがどれだけお役に立っているのか疑問になってしまうことが常々あります。そんな時、我々も何かしらのトラブル対応中に「もしこの作業を直接金庫職員が対応していたとしたら」と考えると、その時間と労力を、金庫に代わって当社が少しでも対応しているのだと思えば、多少は金庫に貢献してるという実感が湧くというものです。

我々の仕事は、地味で、縁の下の力持ちという「守りの要素」だけです。例え軽微なミスも許されません。その割には日の目を浴びない仕事でもあり、是非皆様にはご理解いただければ更に良い仕事に繋がると信じておりますので、引き続きシステムに携わる業界へのご理解ご支援をよろしくお願いいたします。

今後の生活を変えるであろうAIの世界も、悪い人が強力な武器を得るようなもので、そこは避けられないでしょう。ならば守る側は更に強く対抗できなければならず、この目まぐるしい変化に対応できるよう最善を尽くしていく所存です。

最後になりますが、当社役員は今回をもって改選となります。この度の改選では、室蘭山田理事長、網走伴理事長が4期8年、そのうち伴理事長には2期4年を当社会長として務めていただきました。また北空知池内理事長は2年、北見片山理事長は4年、北信協関谷専務には監査役を5年務めていただき、今回退任となります。皆様には、温かいご指導ご鞭撻をいただき大変お世話になりました。また、当社常勤の尾崎取締役も本日をもって退任となります。皆様からのご厚情大変ありがとうございました。

新会長挨拶



代表取締役会長
森村 好幸

この度、株式会社北海道しんきん情報サービスの会長に就任いたしました釧路信用金庫の森村でございます。

前任の伴会長におかれましては、長きにわたり当社ならびに全国の情報サービス会社全体に対して、その豊富な経験と誠実なお人柄により、多大なる功績を残しての退任となり、そのあとを継ぐ者としては大変な重責を感じると思いますが、今回選任された取締役の皆様、武田社長をはじめとする常勤役職員の皆様と一丸となって、さらに道内株主信用金庫のお役に立てる会社として発展するよう微力ながら尽力したいと存じます。

地域に根差し、地元のために奔走する信用金庫のために、より一層の良質なサービス提供ができるよう奮励努力してまいりますので、何卒倍旧のご支援ご鞭撻を賜りますようお願いいたします。

新取締役挨拶



取締役統括部長
守屋 英貴

平素より格別のご高配を賜り厚く御礼を申し上げます。

去る6月12日開催の第26回定時株主総会におきまして、常勤取締役に選任されました。

昨年10月に入社し、まだ一年と経たない中でこのような大役を仰せつかり身が引き締まる思いであります。

現在、生成AIの急速な普及やサイバーセキュリティの高度化など、歴史的な変革期を迎えています。この激しい変化の波を捉え、株主である信用金庫の皆様に安全かつ更なる合理化・省力化を実現し、より低コストで先端の情報サービスを提供することが、弊社の果たすべき重要な使命と認識しております。

入社のご挨拶でも申し上げましたが、これまでの経験を活かし、道内の信用金庫はもとより地域の皆様からも信頼されるパートナーとなること、そして弊社がより明るく、より働き甲斐のある職場となるよう尽力してまいりますので、ご指導ご鞭撻を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

取締役 および 監査役

代表取締役会長 森村 好幸 (釧路信用金庫理事長)
代表取締役社長 武田 大二郎
取締役 久保田 順司 (苫小牧信用金庫理事長)
取締役 田原 栄輝 (道南うみ街信用金庫理事長)
取締役 武田 智明 (旭川信用金庫理事長)

取締役 岡田 伸一 (北星信用金庫理事長)
取締役 中田 真光 (帯広信用金庫理事長)
取締役 守屋 英貴
監査役 新保 雄司 (日高信用金庫理事長)
監査役 古井 雅朗 (北信協専務理事)

基幹系システム更改に伴うATM休止の対応について

しんきん共同センターの令和8年度基幹系システムの更改では、リハーサル時および移行本番時においてATMが休止となります。

自動機監視室におきましては、通常どおりATMの状態確認、事故設定の受付、お客様からの問い合わせ対応等を行っております。

ATMのサービス休止に関し、お客様および設置場所(スーパー等)への事前周知をよろしくお願いいたします。